

第4回 伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画策定委員会 議事概要

1 開催概要

- (1) 日 時 令和8年9月4日(金) 19:00~19:35
- (2) 場 所 小俣総合支所 2階会議室
- (3) 出席者 萩原 浩司委員 大西 弘展委員 中野 温委員 山鹿 富生委員
西城 宏樹委員 森井 順子委員 石田 寛嗣委員
- (4) 事務局 事務部長 濱口 学校施設整備課長 北村 学校教育課長 井村
学校施設整備課主幹 森口 同課主幹 木村

2 議事概要

- (1) 開 会
- (2) 冒頭確認事項
- (3) 議 題

伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画改定素案について

【主な意見・質疑等】

- ・ 基本計画の本文の中に和暦と西暦の両方が記載されているので、分かりやすい。どちらを主として記述するとよいか、基準があるなら揃えたほうが良い。
- ・ 表の中にある「実学級数」とはどういう意味か。
→ 加配教員により増えた学級を含め、実際に編成されている学級数のことである。
- ・ 「築年数別保有状況(延床面積の分布)」のグラフについては、適正規模化と校舎等の大きさはそれほど関連がないのではないかと。また、グラフが分かりにくいので校舎築年数表だけでよいと思う。
→ 市民の皆様にはわかりやすいものとするため、「築年数別保有状況」のグラフは削除し、校舎築年数表のみ掲載する。
- ・ 小中学校の適正配置の基準の中に、「小学校は、半径2kmを超える区域と中学校は、通学距離が6kmを超える場合はスクールバス等の通学手段を講じる」と記載があるが、この条件は統合に伴ってというところがあるため、ここだけ読むとすべての学校が対象であると勘違いしてしまう人はいないかと。
→ 統合に伴ってということがわかるように、記載の仕方を検討する。
- ・ 適正規模化・適正配置の検討契機で、検討は概ね6年間の見通しとしているのはなぜか。
→ 現在生まれた子どもが小学校に入学するのが6年先であり、実数で推計値を算出することが可能であるため6年間の見通しとしている。

- ・ 適正規模化・適正配置に関するフロー図の中に、「概ね 6 年間の見通し」という内容を図の中に追記するとより分かりやすい。
→ 図に追記する。
- ・ シンプルにまとめることでより分かりやすい基本計画となっている。概要版を作成することで、もっと分かりやすいものとなると思う。
- ・ 伊勢市の大規模校で、今後分離しなければならない学校はあるのか。
→ 現在大規模校に属している学校は、今後児童数が減少傾向にあるため分離しなければならない学校は想定していない。

以上